



## 2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス  
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭

TEL 06-6262-3456

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	2,244	120.5	193		197		158	
2022年6月期第1四半期	1,018	38.9	535		414		461	

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 166百万円 ( %) 2022年6月期第1四半期 460百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	15.62	
2022年6月期第1四半期	45.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	6,966	759	9.3
2022年6月期	7,381	973	11.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 647百万円 2022年6月期 857百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		5.00	5.00
2023年6月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	41.6	160		130	63.5	50	66.9	4.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	10,550,400 株	2022年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	425,798 株	2022年6月期	425,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	10,124,602 株	2022年6月期1Q	10,212,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による各種行動制限が緩和され、徐々に経済活動の正常化への動きが見られましたが、その影響は未だに続いております。またウクライナ情勢やコロナ禍に起因する急激な円安による原材料・原油価格等の物価高騰が続いており、未だに収束の兆しが見えないことから、先行き不透明な状況が続いております。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止の重要な施策である、新型コロナワクチンの複数回接種が本格化すると共に感染者数が減少することで、ポストコロナに向けて経済正常化の動きが加速していくものと考えられます。

当飲食業界におきましても、経営環境は厳しいものとなりましたが、当社グループは飲食事業において、以下の通り店舗の新規オープンを実施いたしました。

2022年8月、愛知県名古屋市の商業施設「m o z o ワンダーシティ」内にて、いしがまやハンバーグ業態のフードコートスタイル初出店となる「ハンバーグ&ステーキ いしがま工房」をオープンいたしました。石窯で焼き上げる肉の旨味がたっぷり詰まった究極のハンバーグと厳選されたこだわり牛のステーキをご堪能いただけます。

プラットフォームシェアリング事業については、外食企業向けの更なるプラットフォーム強化を進めると共に、異業種のブランドホルダーに対する出店支援コンサルティング業務の提供も増加しており、今後につきましても、あらゆる可能性を模索しながら、事業の拡大に努めたいと考えております。

フランチャイズ事業については、ハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っており、また、ティーラテ専門店「CHAVATY」業態でのフランチャイズを開始することができ、フランチャイズ事業の商材の多様化を推進することができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,244百万円（前年同期比120.5%増）、営業損失193百万円（前年同期は営業損失535百万円）、経常損失197百万円（前年同期は経常利益414百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失158百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益461百万円）となりました。

なお、当社グループはセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,966百万円となり、前連結会計年度末と比較して415百万円減少しております。

流動資産合計は4,488百万円となり、前連結会計年度末と比較して556百万円減少しております。減少の主な要因は、現金及び預金が375百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は2,478百万円となり、前連結会計年度末と比較して141百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が97百万円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は6,206百万円となり、前連結会計年度末と比較して200百万円減少しております。

流動負債合計は1,707百万円となり、前連結会計年度末と比較して29百万円減少しております。減少の主な要因は、未払法人税等が32百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債合計は4,498百万円となり、前連結会計年度末と比較して170百万円減少しております。減少の主な要因は、長期借入金が169百万円減少したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は759百万円となり、前連結会計年度末と比べ214百万円減少しております。減少の主な要因は、利益剰余金が208百万円減少したことによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年8月12日公表の「2022年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,561,364	3,185,845
売掛金	257,342	274,998
原材料及び貯蔵品	89,429	90,066
未収入金	233,433	9,325
その他	903,448	928,023
流動資産合計	5,045,018	4,488,259
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	816,625	816,238
その他（純額）	133,813	231,379
有形固定資産合計	950,438	1,047,618
無形固定資産		
のれん	63,636	60,043
その他	102,911	107,312
無形固定資産合計	166,547	167,356
投資その他の資産		
投資有価証券	77,405	77,405
差入保証金	839,101	853,837
繰延税金資産	302,080	330,260
その他	2,029	2,565
貸倒引当金	△845	△824
投資その他の資産合計	1,219,771	1,263,243
固定資産合計	2,336,758	2,478,218
資産合計	7,381,776	6,966,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	249,740	243,634
1年内返済予定の長期借入金	678,564	678,564
未払法人税等	43,365	11,332
賞与引当金	—	25,925
その他	766,196	748,411
流動負債合計	1,737,866	1,707,867
固定負債		
長期借入金	4,453,155	4,283,514
資産除去債務	67,353	71,094
その他	149,405	144,323
固定負債合計	4,669,913	4,498,931
負債合計	6,407,780	6,206,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	495,518	495,518
利益剰余金	145,919	△62,890
自己株式	△170,204	△170,204
株主資本合計	852,764	643,954
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,662	3,456
その他の包括利益累計額合計	4,662	3,456
新株予約権	77,865	80,835
非支配株主持分	38,704	31,431
純資産合計	973,996	759,677
負債純資産合計	7,381,776	6,966,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,018,220	2,244,808
売上原価	339,634	645,631
売上総利益	678,585	1,599,176
販売費及び一般管理費	1,214,247	1,792,453
営業損失(△)	△535,662	△193,276
営業外収益		
受取利息	474	224
助成金収入	587,911	4,127
暗号資産評価益	369,426	—
その他	916	2,088
営業外収益合計	958,728	6,440
営業外費用		
支払利息	7,688	6,257
支払手数料	361	505
その他	59	3,602
営業外費用合計	8,109	10,366
経常利益又は経常損失(△)	414,957	△197,201
特別利益		
助成金収入	479,209	12,432
特別利益合計	479,209	12,432
特別損失		
店舗臨時休業による損失	244,456	—
特別損失合計	244,456	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	649,709	△184,769
法人税、住民税及び事業税	55,284	9,758
法人税等調整額	133,863	△28,179
法人税等合計	189,148	△18,421
四半期純利益又は四半期純損失(△)	460,561	△166,348
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△697	△8,161
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	461,259	△158,186

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	460,561	△166,348
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△140	△317
その他の包括利益合計	△140	△317
四半期包括利益	460,421	△166,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,118	△159,392
非支配株主に係る四半期包括利益	△697	△7,273

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは「飲食事業」「プラットフォームシェアリング事業」及び「フランチャイズ事業」を行っております。当社グループの報告セグメントは「飲食事業」のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(ストック・オプション(新株予約権)の消却)

当社は、2022年10月24日開催の取締役会において、当社が2018年10月19日に付与したストック・オプション(新株予約権)の全部を無償で取得し、これを消却することを決議しました。

## 1. 取得及び消却する新株予約権の内容

株式会社きちりホールディングス第7回新株予約権

株主総会決議日	2018年9月27日
新株予約権の残存個数(株数)	1,200個(120,000株)
新株予約権の行使価額	新株予約権1個当たり 89,500 株式1株当たり(行使価額) 895
消却する新株予約権の個数(株数)	1,200個(120,000株)
消却後の新株予約権の個数(株数)	—

(注)2022年9月30日における内容を記載しております。

## 2. 新株予約権の消却の理由

当該新株予約権は、当社の取締役及び従業員の業績向上に対する意欲や士気を喚起するとともに優秀な人材を確保し、当社の企業価値向上に資することを目的として発行されたものでありますが、今般、新株予約権者より権利放棄の申し出があり、当該放棄された新株予約権を当社が無償で取得し、これを消却するため新株予約権が消滅するものであります。

## 3. 新株予約権の消却日

2022年10月24日

## 4. 損益への影響額

本件に伴い、2023年6月期第2四半期において、新株予約権戻入益47,515千円を特別利益に計上する見込みであります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。